

在宅医療の現状と今後 —多職種連携の視点から—

在宅医療を支える多職種連携について、大学病院・急性期・在宅それぞれの立場から学ぶ勉強会です。

現場で役立つ視点や実際の連携事例をご紹介します。

開催概要

日時：令和8年4月28日(火)

19:00～20:30 (90分) 受付時間 18:45～

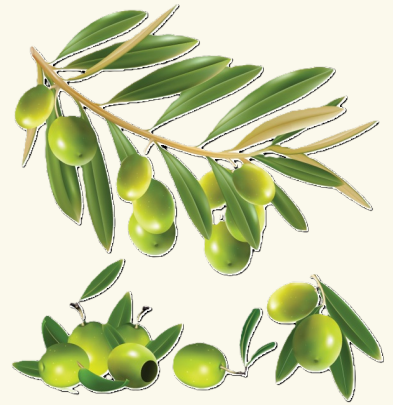
会場：高井戸区民センター 第9会議室

(杉並区高井戸東3丁目7番5号)

対象：ケアマネジャー・訪問看護ステーション職員の皆さま等々

参加費：無料

持ち物：筆記用具・名刺 ※飲み物等は準備いたします。



●プログラム

1. 開会あいさつ・クリニック紹介 (5分)

・杉並オリーブホームケアクリニック

院長 **大草 幹大**

2. 講演 (60分)

・杏林大学医学部付属病院

教授 **長谷川 浩** (救急総合診療科・高齢診療科)

「高齢者に必要な医療とは？」

～質の良い在宅医療の必要性～

・杏林大学医学部付属杉並病院

教授 **鈴木 裕** (消化器・一般外科)

「消化器外科からみた在宅医療連携の重要性」

・杏林大学医学部付属杉並病院

課長 **宇都宮 勢津子** (患者支援センター/MSW)

「急性期医療におけるMSWの役割と在宅医療チームとの

連携の実際」

～在宅にお帰りになる患者さんにMSWができること～

3. 実際の事例紹介 (20分)

在宅医療の現場からの具体的なケース紹介

4. まとめ (5分)

今後の連携について



↑ **二次元コードより参加
申し込みをお願いします**

※定員50名にて先着順となります
問合せ：03-5941-6285

**主催：医療法人社団KRM
杉並オリーブホームケアクリニック**
※杏林大学医学部付属病院並びに
杏林大学医学部付属杉並病院は
当クリニックの連携医療機関です